平成29年度 第3回定例農業委員会総会議事録

1. 招集の別 農業委員会等に関する法律21条第1項による
2. 日 時 平成29年6月9日 午後2時
3. 場 所 ろくじ館会議室
4. 議 題 議案第11号 農地法第3条許可申請書審議
議案第12号 農地法第5条許可申請書審議
議案第13号 農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定による決定について
5. その他
6. 出席委員
農業委員
1番 藤田 日出夫 2番 島津 和徳 3番 平井 豪
4番 福永 浩紀 5番 野口 清綱 6番 宮川 安明
7番 田上 紀世美 8番 志垣 保博 11番 奥村 大助
12番 五嶋 靖 13番 岡本 篤幸 14番 坂本 秀孝
農地利用最適化推進委員
山下 佳人利 井上 良治 河嶋 隆雄
田上 康則 山形 學 本田 廣正
7. 欠席委員農業委員
9番 井芹 康雄、10番 佐藤 礼治
欠席最適化推進委員
田上 安幸 本郷 博行 松本 茂
北林 誠楠 東 功
8. 議事録署名人
3番 平井 豪
4番 福永 浩紀
9. 本会議に職務のため出席したものの職氏名
事務局長 岡本 幹春

事務局職員 本田 裕一郎、浅木 友治、

会 議

1. 開 会
2. 会長あいさつ
3. 議 事

事務局長 定刻になりましたので、総会を始めたいと思います。まずは、総会の成立要件を申し上げます。本日の出席委員は12名でございます。甲佐町農業委員会会議規則第6条の規定を満たしますので、総会は成立することを御報告いたします。ただいまから、平成29年度の第3回定例農業委員会総会を始めさせていただきます。まず始めに、宮川会長に御挨拶をお願いいたします。

会 長 はい。皆さん、改めましてこんにちは。

(こんにちは)

田植え前のお忙しい中に、定例会を開催いたしましたところ、お集りいただきましてありがとうございます。

先月の5月29日に、全国農業委員会会長大会が東京でございまして、私と事務局長と参加をして参りました。

その中で、いずれの農業委員会も課題、問題は一緒だということを感じたわけでございます。

このため、農業委員会としまして農業の持続的発展と競争力強化に向けた改善提言を議題といたしまして審議し、それを採択して、それを要請書として国の法へ出してまいりました。

そのあと、熊本県の代議士の先生方と我々農業委員がそれぞれに分かれて要望活動を行いました。〇〇先生だけが熊本に帰っておられたということで、欠席でしたので、代わりに秘書の方が参られました。その中で全員の方に要請書を差上げたというところがございます。

全国農業委員会の活動については、九州では南薩摩の南大隅町というところが全国表彰を受けられたわけがございます。

甲佐町農業委員会では、9月に研修を考えておりますので、是非そこをお願いをして研修をさせていただきたいなということで、今、申し出をしているところがございます。

今9月と話しましたがけれども、相手があることでございますので、何日ということとは言えませんが、月末の25日からの週に先方のほうに打診をしておりますの

で、決まり次第皆様方に御報告をしたいと思います。

そういう流れがあるということだけを知っていただきたいというふうに思います。今、町も議会が今日から開催しておりますけれども、震災あとの農地の復興、それから農道里道の復興など非常に大きなことが出ておりますが、一つ一つ早く解決をしていかなければならないということですが、局長も農政課の課長でございますので、農業委員会の方もあります、そちらの方も一緒に考えながら向かっていきたいというふうに思っております。今日は記載してあります11号議案から13号議案まで、3条、5条等がありますけれども、最後まで慎重審議をお願いいたしまして、挨拶に代えさせていただきます。よろしく願いいたします。

事務局長 ありがとうございます。それでは、議事録署名委員の指名をお願いいたします。
会 長 はい。本日は○番委員の○○委員と○番委員の○○委員に署名をお願いしたいと思います。よろしく願いいたします。

事務局長 それでは、議事に入りたいと思います。議事の進行につきましては、会議規則第4条の規定に基づき、会長をお願いいたします。

会 長 それでは、議案審議に入ります。議案第11号「農地法第3条許可申請書審議について」を議題といたします。それでは説明をお願いいたします。

事務局長 それでは、本日の資料1ページをお願いいたします。議案第11号、「農地法第3条許可申請書審議について」、農地法第3条第1項の規定に基づき、別紙のとおり許可申請があったので、許可の決定について意見を求めるものでございます。平成29年6月9日提出、甲佐町農業委員会会長名でございます。

会 長 それでは早速ですけれども、審議に入りたいと思います。2ページをお願いいたします。議案第11号の番号1番について、○番委員の○○委員から説明をお願いいたします。

○ 番 ○番委員の○○です。それでは、説明いたします。議案第11号、農地法第3条許可申請書審議調書、1番について説明いたします。

(申請人の状況・相手方の状況・申請土地の状況・移動の理由・契約の種類を讀み上げ)
以上です。

会 長 それでは、申請土地の位置の説明を事務局からお願いいたします。

事務局 それでは説明いたします。地図につきましては3ページに添付しております中央左側に○○、○○等があります。申請地は県道○○線沿いの○○から東へ200メートルほどの場所になります。場所の説明は以上になります。

会 長 続きまして、○○委員から農地の使用貸借権設定について、農地法上問題がないか、説明をお願いいたします。

○ 番 それでは、農地の使用貸借権設定について農地法上問題がないか説明をいたしま

す。今回の案件は、譲渡人である〇〇さんが経営委譲年金受給のため、息子さんである〇〇さんへの使用貸借権を設定するための申請です。譲受人である〇〇さんは会社に勤めながら米、麦、大豆を栽培されております。移動の理由といたしましては、経営移譲年金受給のためです。契約の種類といたしましては、使用貸借権設定（10年）です。申請された内容を農地法に照らし、問題がないか説明いたします。では、お手元のラミネートを御覧いただきたいと思います。権利の取得が農家である場合ですけれども、

①番については、取得する土地に小作契約はありません。

②番については、コンバイン、トラクター、田植え機、管理機等を所有しており、すべての農地を効率的に利用される計画ですので、問題はないと思われま

③については、該当いたしません。

④については、本人の従事日数は90日程度ではありますが、補完的に両親が作業を手伝われるため、取得後の農地を適正に管理することに、何ら問題はないと思われま

⑤につきましては、取得前の耕作面積が〇〇平米ですので、下限面積をクリアして

います。次、⑥番につきましては、該当いたしません。

⑦番については、問題はないと思われま

以上、説明を終わります。

会 長 はい。現地調査を行ってありますので、〇番委員の〇〇委員から説明をお願いいたします。

〇 番 〇番委員の〇〇です。先月の6月1日に会長、〇〇委員、事務局と一緒に現地調査を行いました。今回、申請されている農地は県道〇〇線沿いの〇〇地区にある農地1筆です。申請者である〇〇さんは、現在、米、麦、大豆の栽培を行われており、今回の申請地にも米、麦、大豆の作付を計画されており、周辺の営農に支障をきたす恐れがないことを報告いたします。

会 長 はい。ただいま、〇番委員の〇〇委員から現地調査の報告。また、〇番委員の〇〇委員から、農地法第3条第2項の各号いずれにも該当しないと説明がありました。これより質疑に入ります。発言のある方は挙手をお願いいたします。ありませんか。
(はい)

はい。それでは、採決を行いません。許可することに賛成の方の挙手を求めます。
(賛成者挙手)

はい。全員賛成と認めます。番号1番につきましては、原案どおり許可することに決定をいたします。

続きまして、番号2番から4番につきましては相手方が同一ですので、一緒に審議

をしたいと思います。また、申請土地につきましては、〇〇と〇〇で、担当委員も〇番委員の〇〇委員、〇番委員の〇〇委員となりますが、〇番委員の〇〇委員からの説明をお願いしたいと思いますが、一緒によろしいですかね、皆さん。

(はい)

それじゃあ、〇〇委員お願いいたします。

〇 番 〇番委員の〇〇です。番号2から番号4番について、説明をいたします。
(申請人の状況・相手方の状況・申請土地の状況・移動の理由・契約の種類を読み上げ) 以上です。

会 長 はい。申請土地の位置の説明を事務局からお願いいたします。

事務局 はい。それでは説明いたします。地図につきましては、4ページに添付しておりますが前のスクリーンにおいて説明いたします。まず、画面中央上に県道〇〇線が通っております。画面中央左端に〇〇小学校、その北側に〇〇川があります。画面中央右側が〇〇集落になっております。申請地は、〇〇川沿いの〇〇地区に2筆。〇〇地区に1筆の3筆。と、〇〇地区内に1筆あります。場所の説明は以上となります。

会 長 はい。続きまして、〇〇委員から農地法上問題がないかの説明をお願いいたします。

〇 番 はい。〇番委員の〇〇です。それでは、農地の耕作賃借権設定(5年)について農地法上問題がないか、説明をいたします。譲受人である〇〇さんは、新規就農者として〇〇集落の〇〇地区で農業をがんばっておられます。今回の申請は、譲渡人である〇〇さん、〇〇さん所有の農地が小作から帰ってきたために譲受人を変更する案件が2件と、農地の管理が難しくなったために新たに譲受人を設定する案件が1件の計3件です。移動の理由としては経営規模拡大です。契約の種類としましては、耕作賃借権設定(5年)でございます。申請された内容を農地法に照らし、問題がないか説明をいたします。

①につきましては、取得する土地に小作契約はありません。

②については、トラクターを所有で、他の農業機械の田植え機、コンバインはリースで利用する予定であり、すべての農地を効率的に利用されると思われるため、問題ないと思われま。

③については、該当しません。

④については、本人の従事日数は200日程度となっており、取得後の農地を適正に管理することに、何ら問題はないと思われま。

⑤については、取得前の耕作面積が〇〇平米で下限面積をクリアします。

⑥については、該当しません。

⑦については、問題ないと思われま。

以上、説明を終わります。

会 長 はい。これも現地調査を行ってありますので、○番委員の○○委員から説明をお願いします。

○ 番 ○番委員の○○です。6月1日に会長、○○委員、事務局と一緒に現地調査を行いました。今回、申請されている農地は○○集落にある農地で、町道鹿里線沿いに農地（田）が2筆、○○集落の○○地区の町道○○線沿いに1筆の計3筆です。申請者である○○さんは、新規就農者で○○集落の○○地区に住んでおられ、○○地区の将来の担い手として農業をがんばっておられます。今回の申請される農地には米の栽培を計画されており、周辺の営農に支障をきたす恐れがないことを報告いたします。以上です。

会 長 はい。ただいま、○番委員の○○委員から現地調査の報告。また、○番委員の○○委員から、農地法第3条第2項の各号いずれにも該当しないと説明がありました。これより質疑に入ります。発言のある方は挙手をお願いいたします。

○ 番 はい。

会 長 はい。○番委員。

○ 番 この中に10アール辺りの単価を記載表に書いてありますが、○番○○さんと○○さんについては納得できると思いますが、○番の○○さんについては、あまりにも安いというか、単価が違いますので、○○さんと○○さんの関係を教えていただきたいんですけど。

事務局 はい。

会 長 はい。事務局。

事務局 ○○さんと○○さんの関係は分かりませんが、現状を見ていただくと○○さんの持っておられる土地は条件が悪いというか、今は耕作放棄地状態です。

それで、それを解消するというのもあって、この対価というところですよ。

○ 番 分かりました。

会 長 はい。ほかには。

○ 番 はい。

会 長 はい。どうぞ。

○ 番 先ほど説明があった中で○○さん、農業機械をなんかリースでというような説明があったと思いますが、何か所有しておられる機械はありますか。全部リースですか。

事務局 はい。まだ新規就農者ということで、昨年に就農されておられます。それで、主体的には今、粟、それと米を若干作られています。

今持っておられる機械については、トラクターだけです。

リースというのは近くの人から田植え機、あるいはコンバインを借りて、その期間だけ使うというような計画でございます。

今後においては、ある程度軌道に乗れば機械等も中古機械を購入されるのかなと

というような事務局の推測ではありますけれども、そういうふうになっていくのかな
と思っているところでございます。

会 長 ほかには、ございませんか。はい。なければ採決を行います。許可することに賛成
の方は挙手をお願いいたします。

(賛成者挙手)

はい。全員賛成と認めます。番号2番から4番につきましては、原案どおり許可す
ることに決定をいたします。

続きまして、番号5番につきましては、○番委員の○○委員から説明をお願いいたし
ます。

○ 番 それでは、番号5番について説明いたします。

(申請人の状況・相手方の状況・申請土地の状況・移動の理由・契約の種類を読み
上げ)

以上です。

会 長 はい。それでは、申請土地の位置の説明を事務局よりお願いいたします。

事務局 はい、それでは説明いたします。地図につきましては、5ページに添付しておりま
すが前のスクリーンにおいて説明いたします。まず、画面中央を上から下へ国道○
○号線が通っております。画面中央上に○○橋がございます。申請地は、国道○○
号線から○○方面へ向かって、東へ100メートルほど入った場所に3筆ございます。
以上、説明は以上となります。

会 長 はい。続きまして、○○委員に農地の所有権移転について、農地法上問題ないか、
説明をお願いいたします。

○ 番 ○番委員の○○です。それでは、今回の申請のある所有権移転(有償)について農
地法上問題がないか、説明いたします。譲受人である○○さんは、○○集落で野菜、
柿、栗の栽培をがんばっておられます。今回、申請の農地につきまして、譲渡人
である○○さんが管理が難しいということで、○○さんに購入の依頼をされたため、
今回、所有権移転に至ったところです。移動の理由としては経営規模拡大です。契
約の種類としては、所有権移転(有償)です。申請された内容を農地法に照らし、
問題がないか説明いたします。

①については、取得する土地に小作契約はありません。

②については、トラクター、管理機、噴霧器等を所有しており、購入後は農地を効
率的に利用される計画ですので、問題ないと思われま。

③については、該当しません。

④については、本人の従事日数は100日程度となっており、取得後の農地を適正に
管理することに、何ら問題ないと思われま。

⑤については、取得前の耕作面積が○○平米で下限面積をクリアします。

⑥については、該当しません。

⑦については、問題ないと思われま

以上、説明を終わります。

会 長 はい。これも現地調査を行ってありますので、○番委員の○○委員から説明をお願いいたします。

○ 番 ○番委員の○○です。6月1日に会長、○○委員、事務局と一緒に現地調査を行いました。今回、申請されている農地は○○集落の○○地区にある農地で、国道○○号線から入ったところにある畑3筆です。この申請農地は、現在、管理不足で少し荒れた状態となっておりますが、農地取得後は果樹（栗）の栽培を計画されており、周辺の営農に支障をきたす恐れがないことを報告いたします。以上です。

会 長 ただいま、○番委員の○○委員から現地調査の報告。また、○番委員の○○委員から、農地法第3条第2項の各号に該当しないと説明がありました。これより質疑に入ります。発言のある方は挙手をお願いいたします。ありませんか。はい。それでは、採決を行ないます。許可することに賛成の方の挙手を求めます。

（挙手の確認）

はい。全員賛成と認めます。番号5番につきましては、原案どおり許可することに決定をいたします。

続きまして、議案第12号「農地法第5条許可申請書審議」についてを議題といたします。事務局から説明をお願いいたします。

事務局 はい。6ページをお願いいたします。議案第12号、農地法第5条許可申請書審議について。農地法第5条第1項の規定に基づき、別紙のとおり許可申請があったので、意見の決定を求めるものでございます。平成29年6月9日提出、甲佐町農業委員会会長名です。以上です。

会 長 はい。ありがとうございました。それでは、7ページをお願いいたします。議案第12号、農地法第5条許可申請書審議調書の番号1番について審議をしたいと思えます。○番委員の○○委員から説明をお願いいたします。

○ 番 ○番委員の○○です。それでは、議案第12号、農地法5条の規定による、許可申請審議調書、番号1番について説明いたします。

（申請人・相手方の状況・申請土地の状況・移動の理由契約の種類を讀上げ）

以上です。

会 長 はい。申請地の位置の説明を事務局をお願いいたします。

事務局 はい。それでは説明いたします。地図につきましては、8ページに添付しておりますが、前のスクリーンにおいて説明いたします。まず、画面中央上から中央下にかけて国道○○号線が通っております。上は○○方面、下は○○方面になります。で、

申請地は国道〇〇号線を〇〇町の境界沿いの、国道〇〇号線から東へ20メートルほど入った場所になります。場所の説明は以上となります。

会 長 はい。続きまして、転用申請に係る可否の判定について、〇番委員の〇〇委員より説明をお願いいたします。

〇 番 〇番委員の〇〇です。それでは、説明します。今回の申請は、申請者である株式会社〇〇が山林を購入されましたが、その中に農地（田）が1筆ありました。株式会社〇〇は、農地所有適格化法人ではないため、このまま農地を取得することできませんので、建設機械及び資材置場へ転用するための申請です。転用申請に係る可否の判定として、申請された内容を農地法に照らし、問題がないかどうか説明します。それでは、お手元のラミネートの資料の転用申請に係る可否の判断を御覧ください。

① については、今回の申請地は農振農用地ではありません。農地の状況としては、中山間地域にある生産性の低い農地です。このため、農地法第4条第2項の第1号のイ及びロには該当しません。

②については、今回の事業達成のために代わる土地はありません。

③については、申請地に杉が植林されており、現況は山林状態で、始末書も添付されており、事業の実現性については問題ないと思われます。

④については、周りには農地も農業施設もなく山林ですので、隣接する農地に支障を及ぼす恐れなど、営農条件に支障を生じる恐れはありません。

⑤については、今回の申請は仮設工作物ではないので該当しません。

以上、説明を終わります。

会 長 はい。これも現地調査を行ってありますので、〇番委員の〇〇委員より説明をお願いいたします。

〇 番 はい。〇番委員の〇〇です。6月1日に会長、〇〇委員、事務局と一緒に現地調査を行いました。申請地は、〇〇集落の〇〇地区にある農業公共投資も行われていない生産性の低い農地です。また、今回の転用申請は建設機械及び資材置場に転用するもので、周囲の農地はここだけで、隣接する農地や農業施設に影響を与えないことから、転用による周囲の営農に支障をきたす恐れのないことを報告いたします。以上です。

会 長 はい。ただいま、〇番委員の〇〇委員から現地調査の報告。それに、〇番委員の〇〇委員から、転用申請に係る可否の判断である農地法第4条第6項の各号には該当しないと説明がありました。これより質疑に入ります。発言のある方は挙手をお願いいたします。

ありませんか。

（はい）

それではないようですので、当農業委員会としましては「許可相当」の意見を付けて県に送付したいというふうに思います。

続きまして、番号2番について○番委員の○○委員から説明をお願いいたします。

- 番 はい。議案第12号、番号2について説明いたします。
(申請人・相手方の状況・申請土地の状況・移動の理由契約の種類を讀上げ)
以上です。
- 会 長 はい。申請地の位置の説明を事務局をお願いいたします。
事務局 それでは説明いたします。地図につきましては、9ページに添付しておりますが、前のスクリーンのほうで説明いたします。画面右下から画面中央上にかけて県道○○線が通っております。画面右側に○○学校、左側に○○がございます。画面中央から左上にかけて町道○○線が通っております。申請地は、町道○○線沿いにあり、○○から200メートルほど南にある、計3筆になります。場所の説明は以上となります。
- 会 長 はい。続きまして、転用申請に係る可否の判定について、○○委員より説明をお願いいたします。
- 番 ○番委員の○○です。それでは、説明いたします。今回の申請は、○○集落で○○の製作販売を営んでおられた○○さんが、昨年の熊本地震で○○が被災されたため、今回の申請地を購入し、○○として転用するものです。転用申請に係る可否の判定として、申請された内容を農地法に照らし、問題がないかどうか説明します。それでは、お手元のラミネートの資料の転用の申請に係る可否の判断を御覧ください。
- ①については、今回の申請地は農振農用地ではありません。農地の状況としては、おおむね10ヘクタール以上の規模の一団の区域内にある農地であるため、農地の転用の制限である農地法第4条第6項の第1号のロに該当します。この、農地法第4条第6項の第1号のロに該当する農地の転用は原則できませんが、今回の申請目的が集落内に居住する者の住宅及び作業所であるため、例外的に許可することが可能と思われます。許可の条件としましては、運用規定第2の1の(1)のイの(イ)のCの(e)の住宅その他申請に係る土地の周辺の地域において、居住する者の日常生活上、又は業務上必要な施設で集落に接続して設置されるものに該当すると思われます。
- ②については、今回の事業達成のために代わる土地はありません。
- ③については、経費の見積書、資金計画、地元区長からの同意も得られており、事業の実現性についても問題ないと思われます。
- ④については、現地は道路より低いため造成を計画されていますが、空洞ブロック及びL型擁壁を設置し、道路・水路への土砂の流出を防止対策がとられているた

め、隣接する農地に支障を及ぼす恐れなどなく、営農条件に支障を生じる恐れはありません。

⑤については、今回の申請は仮設工作物ではないので該当しません。

以上で説明を終わります。

会 長 はい。現地調査を行ってありますので、○番委員の○○委員から説明をお願いいたします。

○ 番 ○番委員の○○です。6月1日に会長、○○委員、事務局と一緒に現地調査を行いました。申請地は、○○にある農地で、おおむね10ヘクタール以上の規模の一団区域内にある農地であるため、農地区分としては第一種農地に該当すると思われます。今回の申請場所は、道路より低いため造成を計画されていますが、ブロック及び擁壁で土砂の流失防止策を講じられており、転用による周囲の営農に支障をきたす恐れのないことを報告いたします。

会 長 はい。ただいま、○番委員の○○委員より現地調査の報告。また、○番委員の○○委員から転用申請に係る可否の判断である農地法第4条第6項の各号には該当しないと説明がありました。これより質疑に入ります。発言のある方は挙手をお願いいたします。

○ 番 はい。

会 長 はい。○番委員さん、どうぞ。

○ 番 これは、この譲渡人の年齢が不明となっていますが、所有権移転の申請で年齢が不明でいいのでしょうか。

事務局 今回の申請人は、住登外ということで農業委員会が持つとる資料では分からないため記載されていないところです。

また、申請書の記載についても年齢を書く欄がございませんので、入っていないというところがございます。

それと、転用申請につきましては、県許可ですので申請書を県へ提出しますが、年齢のところについては県からの指導は今のところあっていないということで、現在の通りとしておりますが、今度、農業会議へお尋ねをして、年齢まで入れる必要があるのかどうかについては、調べてからまた、次回の定例会の中で報告させていただきたいと思います。

○ 番 よろしくお願ひします。

会 長 ほかに、ございませんか。

○ 番 はい。

会 長 はい。○番委員どうぞ。

○ 番 はい。この中で、○○及び○○と書いてありますが、割合的にはどれぐらいの割合になつとると。

事務局 ○○がですね、○○平米です。あと○○が○○平米です。あとの土地の利用としましては、駐車場、大型の駐車場と、それと乗用車等の駐車場が2箇所。大型は1箇所です。それと、あと○○となっております。

○ 番 はい。

会 長 はい。ほかにありませんか。はい。ないようですので、当農業委員会としましては「許可相当」という意見を付けて県に送付したいと思いますが、よろしゅうございますか。

(はい)

はい。

続きまして、議案第13号「農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定による決定について」を議題といたします。事務局から説明をお願いいたします。

事務局 資料は、10ページをお願いします。議案第13号、「農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定による決定について」農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定による決定について別紙のとおり諮問があったので、意見の決定を求めるものでございます。平成29年6月9日提出、甲佐町農業委員会会長名でございます。11ページをお願いします。11ページが、町長から農業委員会宛てに出されている諮問書にございます。甲農第404号、平成29年5月25日、甲佐町農業委員会会長宛て、甲佐町長名です。「農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定による決定について」(諮問)ということで、農業経営基盤強化促進法第3条に基づく農用地利用集積計画について、同法第18条第2項及び甲佐町農業経営基盤強化促進事業実施方針により、農用地利用集積計画を定めたいので、同法第18条第1項の規定により諮問しますというものでございます。次の12ページをお願いいたします。農用地利用集積計画総括表、平成29年度第3回でございます。まずこの、農地利用集積計画の総括表で御説明いたします。今回の、利用権の設定につきましては、賃借権の再設定の3年の田が10筆で9,668平方メートル、同じく3年の畑が2筆で1,782平方メートル、6年の田が11筆で9,287平方メートル、同じく6年の畑が1筆で921平方メートル、10年の田が24筆の20,777平方メートル、同じく10年の畑が1筆の89平方メートルで、賃借権の再設定の計としましては田が45筆の39,732平方メートル、畑が4筆で2,792平方メートルです。賃借権の新規としましては、5年の田が6筆の8,734平方メートル、6年の田が1筆の1,836平方メートル、10年の田が21筆の16,538平方メートルで賃借権の新規の計としましては、田で28筆の27,108平方メートルです。賃借権の再設定、および新規の小計としましては、田が73筆の66,840平方メートル、畑が4筆で2,792平方メートルです。使用賃借権につきましては、再設定の6年の田が8筆の3,928平方メートル、同じく6年の畑が4筆で3,588平方メートル、10年の田が14筆で16,826平方メートル、同じく10年の畑が9筆で8,787平方メートル。で、再設定

の合計としましては、田が22筆の20,754平方メートル、畑が13筆で12,375平方メートルです。使用貸借権の新規につきましては、10年の田が10筆の11,545平方メートルのみですので、使用貸借権の新規の小計としましては田で10筆の11,545平方メートルです。使用貸借権の再設定、新規の合計は、田、32筆の32,299平方メートル、畑が13筆の12,375平方メートルです。今回の利用権設定の合計としましては、田で105筆の99,139平方メートル、畑が17筆で15,167平方メートルとなります。その他、所有権移転の田が4筆で1,463平方メートル、畑が1筆で2,807平方メートルとなっています。委員の皆様にご審議していただきますのは、新規の案件となります。そのほか詳細につきましては、事務局から説明をいたします。以上です。

会長 はい。それでは、13ページをお願いします。13ページです。議案第13号「農業経営基盤強化促進法の規定に係る農地利用集積計画」の番号1番について審議をしたいと思いますが、この案件につきましては、農業委員会等に関する法律第31条、また、甲佐町農業委員会会議規則第11条に参与の制限があり、委員会の委員、また委員は、自己または同居の親族、もしくはその配偶者に関する事項について審議に参加することができないとあります。この案件の相手方は、農業委員の〇〇さんです。このため、〇〇さんは審議が終わるまで退席をお願いいたします。

(〇〇委員の退席確認後)

はい。それでは、事務局から説明をお願いいたします。

事務局 それでは、議案第13号農業経営基盤強化促進法の規定による農地利用集積計画、番号1について説明をいたします。

(申請人の状況・相手方の状況・申請土地の状況・貸借の開始、終了・貸付年数・移動の理由・契約の種類を読み上げ)

続きまして、申請位置の説明をいたします。地図につきましては、14ページに添付しておりますが、前のスクリーンにおいて説明いたします。まず、画面中央を町道〇〇線が通っております。画面左側に国道〇〇号線。画面右下には〇〇学校。画面左側に〇〇団地となっております。申請地は、町道〇〇の1筆で、国道〇〇号線から〇〇のところ〇〇集落方面に向かって行き、〇〇集落の入口の1筆となっております。場所の説明は以上となります。

事務局 続きまして、譲受人の状況について説明をいたします。番号1の譲受人である〇〇さんは認定農業者で、〇〇集落の人・農地プランにも位置づけられ、集落の中心経営体として農業をがんばっておられます。主たる営農内容は、〇〇経営で米、WCS用イネ、飼料作物を栽培されています。今回の申請地にも、WCS用イネ、飼料作物の作付を計画されており、集積後は効率よく利用できると思われれます。

会長 はい。ただいま、事務局より番号1番について説明がありました。これより質疑に入ります。発言のある方は挙手をお願いいたします。ありませんか。

(ありません)

はい。それでは原案どおり。

○ 番 いや、ちょっと、すみません。

会 長 はい。どうぞ○番委員。

○ 番 対価は〇〇キロと説明があったと思いますが、面積からするとすごく安い。親戚かなんかなかですか。

会 長 はい、どうぞ。

事務局 事務局では、親戚かどうかは分かりませんが、〇〇委員が今日来られて、全体で〇〇キロと書いていましたが、これは全部で〇〇キロの間違いと言われましたので、

○ 番 えらい安いなあと思って。

事務局 申し訳ございません。

○ 番 いえいえ。

事務局 推測で申し上げると申し訳ないですけれども、やはりこの譲渡人、農地を貸される方が〇〇歳ということで、もう、よかったら作ってくれっていうような意味合いじゃないかなというふうに事務局としては考えているところでございます。

○ 番 分かりました。

会 長 確認しましょうか。

○ 番 よかです。

会 長 よかですか。はい。ほかにありませんか。はい。質問もないようでございます。それでは原案どおり決定することに賛成の方の挙手を求めます。

(賛成者挙手)

はい。全員賛成と認めます。それでは、番号1番については原案どおり承認をいたします。〇〇委員の入室を認めます。

(〇〇委員の入室確認後)

はい。続きまして、15ページをお願いいたします。番号2番、3番については、相手方(譲受人)が同一ですので、一緒に審議をしたいと思いますが、この案件につきましても、先ほどの番号1番と同様で、相手方(譲受人)が、農事組合法人〇〇で最適化推進委員の〇〇さんはその役員を務められておりますので、このため、〇〇委員には審議が終わるまで退席をお願いしたいと思います。よろしくお願いたします。で、申し訳ありません。〇〇委員も該当しますので、〇〇委員の退席を求めます。

(〇〇委員・〇〇委員の退席確認後)

はい。それでは、事務局から説明をお願いいたします。

事務局 はい。それでは、番号2、番号3について説明をいたします。

(申請人の状況・相手方の状況・申請土地の状況・貸借の開始、終了・貸付年数・

移動の理由・契約の種類を読み上げ)

続きまして、申請地の位置の説明をいたします。地図につきましては、17ページに添付しておりますが、前のスクリーンにおいて説明いたします。まず、画面中央、右側から左下にかけて県道〇〇線が通っております。画面中央には〇〇地区の集落がございます。また、〇〇の集落から左側にかけて町道〇〇線が通っております。申請地は町道〇〇線沿いの2筆になっております。場所の説明は以上となります。

事務局

次に、譲受人の状況について説明をいたします。番号2、番号3の相手方(譲受人)であります農事組合法人の〇〇は、認定農業者で〇〇地区の人・農地プランにも位置づけられ、集落の中心的経営体として農業をがんばっておられます。主たる営農内容は、米、麦、大豆の栽培をされています。今回の申請地にも、米、麦、大豆の栽培を計画されており、集積後は効率よく利用できると思われれます。以上です。

会長

はい。ただいま、事務局から番号2番、番号3番について説明がありました。これより質疑に入ります。発言のある方は挙手をお願いいたします。

会長

はい。質問もないようでございますので、原案どおり決定することに賛成の方の挙手をお願いいたします。

(賛成者挙手)

はい。全員賛成と認めます。それでは、番号2番、3番については原案どおり承認をいたします。〇〇委員・〇〇委員の入室を認めます。

(〇〇委員・〇〇委員の入室確認後)

はい。続きまして、番号4番から7番につきましても相手方が同じですので、一緒に審議をしたいと思います。事務局から説明をお願いいたします。

事務局

それでは、説明をいたします。この案件につきましても、農地中間管理機構を使った農地の貸し借りになります。

(申請人の状況・相手方の状況・申請土地の状況・貸借の開始、終了・貸付年数・移動の理由・契約の種類を読み上げ)

続きまして、申請地の位置の説明をいたします。地図につきましては、18ページに添付しておりますが、前のスクリーンにおいて説明いたします。まず、画面中央下に〇〇高校があります。中央下から右上にかけて県道〇〇線が通っております。また、画面中央下から左上にかけては国道〇〇線が通っております。また、画面中央右側に〇〇集落がございます。申請地は県道〇〇線沿いの〇〇集落入口付近の6筆となっております。場所の説明は以上となります。

事務局

次に譲受人の状況について説明をいたします。番号4から番号7の相手方(譲受人)である〇〇さんは、認定農業者で〇〇集落の人・農地プランにも位置づけられ、集落の中心経営体として農業をがんばっておられます。主たる営農内容は、米、麦、大豆の栽培をされています。今回の申請地にも、米、麦、大豆の栽培を計画されて

おり、集積後は効率よく利用できると思われます。以上でございます。

会 長 はい。ただいま、事務局から番号4番から番号7番について説明がありました。これより質疑に入ります。発言のある方は挙手をお願いいたします。ありませんか。

(はい)

はい。それでは原案どおり決定することに賛成の方の挙手をお願いいたします。

(賛成者挙手)

はい。全員賛成と認めます。それでは、番号4番から7番については原案どおり承認をいたします。

続きまして、番号8番から11番までにつきましても、相手方が同一ですので一緒に審議をしたいと思います。それでは事務局から説明をお願いいたします。

事務局 それでは、番号8から番号11までを説明をいたします。で、この案件につきましても、農地中間管理機構を活用した農業経営基盤強化促進法に基づく農地の貸し借りになります。

(申請人の状況・相手方の状況・申請土地の状況・貸借の開始、終了・貸付年数・移動の理由・契約の種類を読み上げ)

続きまして申請地の位置の説明をいたします。地図につきましては、19ページに添付しておりますが、前のスクリーンにおいて説明いたします。まず、画面右上から右下にかけて国道〇〇号線が通っております。また、画面右上に〇〇高校、画面中央上に〇〇の集落がございます。また、画面中央付近に〇〇公園がございます。申請地は県道〇〇号線から〇〇集落の入口付近に1筆。また、〇〇公園の道向かいに4筆。合計5筆となります。場所の説明は以上となります。

事務局 次に譲受人の状況について御説明をいたします。8番から11番の相手方(譲受人)である〇〇さんは、認定農業者で〇〇地区の人・農地プランにも位置づけられ、集落の中心的経営体として農業をがんばっておられます。主たる営農内容は、〇〇で、WCS用イネ、飼料作物の栽培をされています。今回の申請地にも、飼料作物の栽培を計画されており、集積後は効率よく利用できると思われます。以上でございます。

会 長 はい。ただいま、事務局から番号8番から番号11番について説明がありました。これより質疑に入ります。発言のある方は挙手をお願いいたします。はい。〇番委員。

〇 番 今、〇〇さんの借地のことですが、冬場だけとちょっと話聞いたんですけども、10アールあたりの単価がちょっと冬場だけにしては高いような気がいたしとりましたので、そのことについて説明をお願いします。

会 長 はい、どうぞ。

事務局 申し訳ございませんけど、単価につきましては事務では介入していません。

このため、賃借料が高いのか安いのか、なかなか難しいところがございますけれど

も、それだけ借りられる方からすると必要ということで、この単価設定をされていると思います。

それと場所も見られて分かれると思いますけれども、自宅から近くて便利もいいということで、どうしてもこの土地を借りたいというようなところではないかなというふうに事務局では推測をしているところでございます。以上でございます。

○ 番 はい。分かりました。

会 長 はい。ほかにございませんか。はい。なければ、賛成の方の挙手をお願いいたします。

(賛成者挙手)

はい。全員賛成と認めます。

それでは、次に16ページをお願いいたします。この案件につきましても、12番から17番までは相手方(譲受人)が同一ですので、一緒に審議をしたいと思います。それでは、事務局から説明をお願いいたします。

事務局 それでは、番号12番から番号17番について説明をいたします。

この案件につきましても、農地中間管理機構を活用した農業経営基盤強化促進法に基づく農地の貸し借りになります。

(申請人の状況・相手方の状況・申請土地の状況・貸借の開始、終了・貸付年数・移動の理由・契約の種類を読み上げ)

続きまして、申請地の位置の説明をいたします。地図につきましては、20ページに添付しておりますが、前のスクリーンにおいて説明いたします。まず、画面中央右側から左上にかけて〇〇川が流れております。画面右端に〇〇橋。画面中央上に〇〇橋が架かっております。申請地は〇〇橋を渡った〇〇川の堤防沿いに7筆。それと、県道〇〇線から〇〇小学校までの間に17筆の合計22筆となっております。場所の説明は以上となります。

事務局 次に、譲受人の状況について説明をいたします。番号12から番号17の相手方(譲受人)ですけれども。農事組合法人〇〇は、認定農業者で〇〇地区の人・農地プランにも位置づけられ、集落の中心経営体として農業をがんばっておられます。主たる営農内容は、米、麦、大豆の栽培をされています。今回の申請地につきましても、米、麦、大豆の栽培を計画されており、集積後は効率よく利用できると思われれます。以上でございます。

会 長 はい。ただいま、事務局から番号12番から17番について説明がありました。これより質疑に入ります。発言のある方は挙手をお願いいたします。

○ 番 はい。

会 長 はい。○番委員

○ 番 ちょっと、教えてください。15ページではですね、〇〇さんが逆に〇〇の分を借り

るわけですね。

事務局

はい。

○ 番

そして今度は、16ページでは逆に自分のを貸す。これは場所の関係ですかね。〇〇まで行くのは遠いから、〇〇で借りれば便利が良いということで、そのへんのところでは何かわかりますか。

事務局

今、〇番委員がおっしゃったとおりです。それと、もう一つありますのが、〇〇集落に〇〇さんと、〇〇さんがおられて、もう農地の耕作ができないということで、〇〇さんの分を作っておられましたけど、それも作れなくなりました。

このため、認定農業者の〇〇さんにこの土地を作っていただけませんかという話をしておりましたところ、〇〇の所と、この所の土地の両方はなかなか難しいということでした。

このため、〇〇のほうを誰か作っていただければ、この土地は作るよということになりました。

また、〇〇の方の農地については農事組合法人〇〇も集積を目指しておられましたので、うまく調整ができたといいますか、折り合いがついたということで、今回の案件となったところです。

○ 番

ありがとうございました。

会 長

よろしいですか。

○ 番

はい。

会 長

お願いします。ほかございませんか。

(はい)

はい。質問もないようでございます。それでは原案どおり決定することに賛成の方の挙手をお願いいたします。

(賛成者挙手)

はい。全員賛成ということで、原案どおり決定をいたします。

続きまして、番号18番について、事務局から説明をお願いいたします。

事務局

それでは、番号18について説明をいたします。

この案件につきましても、農地中間管理機構を活用した貸し借りになります。

(申請人の状況・相手方の状況・申請土地の状況・貸借の開始、終了・貸付年数・移動の理由・契約の種類を読み上げ)

続きまして、申請地の位置の説明をいたします。

地図につきましては、20ページに添付しておりますが、前のスクリーンにおいて説明いたします。

申請地につきましては、画面中央右端の〇〇橋を通りまして、〇〇地区へ抜ける〇〇川の堤防沿いに2筆ございます。場所の説明は以上になります。

事務局 次に譲受人の状況について御説明をいたします。番号18番の相手方（譲受人）である〇〇さんは、認定農業者で〇〇地区の人・農地プランにも位置づけられ、集落の中心経営体として農業をがんばっておられます。主たる営農内容は〇〇で、WCS用イネ、飼料作物、米等の栽培をされておられます。今回の申請地にも、WCS用イネ、飼料作物、米の栽培を計画されており、集積後は効率よく利用できると思われまます。以上でございます。

会長 事務局より番号18番についての説明がありました。これより質疑に入ります。発言のある方は挙手をお願いいたします。ありませんか。

(はい)

はい。それでは原案どおり賛成することに賛成の方の挙手をお願いいたします。

(賛成者挙手)

はい。全員賛成と認めます。それでは、18番については原案どおり承認をいたします。

それでは、21ページをお願いいたします。21ページです。番号19番、20番については、関連がありますので一緒に審議をしたいと思しますので、事務局より説明をお願いいたします。

事務局 それでは説明をいたします。

この案件につきましては、農地中間管理機構の特例事業ということで、農業公社を活用した農業経営基盤強化法に基づく農地の売買になります。それでは、19番、20番について説明をいたします。

(所有権を移転する者、申請土地の状況・契約の相手方、単価、対価、契約の種類)。

続きまして、申請地の位置の説明をいたします。

地図につきましては、22ページ、23ページに添付していますが、前のスクリーンで説明いたします。まず、番号19番についてですけど、画面中央を県道〇〇線が横に通っており、画面右端に〇〇神社がございます。また、画面左上に〇〇の採石場がございます。申請地は県道〇〇線沿いの4筆となります。続きまして、番号20番についての説明をいたします。画面中央上を県道〇〇線が通っております。また、画面中央から中央下にかけて県道〇〇線が通っております。申請地は県道〇〇線から町道〇〇線に入り、西へ1キロほど進んだ場所がございます。場所の説明は以上となります。

事務局 すみません。先ほど説明が不足していましたので、追加の説明をさせていただきたいと思っております。先ほど、この案件については農地中間管理機構を使った特例事業で、農業公社を活用した農業経営基盤強化法に基づく農地の売買と説明をいたしましたけれども、今回の案件は、所有しておられます〇〇さん、それと〇〇さんの農地をこの農地中間管理機構がいったん購入いたしまして、その後、農地を取得したい

方を農地中間管理機構が募集をかけて、要件に合った農業者へ売買するというような取り組みでございます。先ほど申し上げるとよかったですけれども、追加で説明をさせていただきました。以上でございます。

会 長 ただいま、事務局から番号19番、20番についての説明がありました。これより質疑に入ります。発言のある方は挙手をお願いいたします。ありませんか。

(はい)

はい。質問もないようでございます。それでは原案どおり決定することに賛成の方の挙手をお願いいたします。

(賛成者挙手)

はい。全員賛成と認めます。それでは、原案どおり承認をいたします。

それでは、本日予定の協議は全て終わりました。これをもちまして、第3回定例農業委員会総会を終了します。

本議事録が真正であることを署名する。

署名委員 議 長

3 番

4 番